大葛新報
31

速報！大葛新報が青若会へ

毎月発行していたこの大葛新報もこの号で終わりです。惜しむ声もたくさん頂きましたが、協力隊で作るこの新聞も最終号です。ご愛読、誠にありがとうございました。さて惜しむ暇なく、明るいニュースです。先日の大葛の将来を考える会で、大葛新報の引き継ぎの話があり、青若会へ継続への打診がありました。その後、青若会で話し合い、将来を考える会と条件を合わせ、なんと継続する方向で決まりました。一月末からの発行で二か月に一回の予定です。各青年団長が中心になるので、今よりもより地域に密着した新聞になると思います。また、自分も紙面でお目にかかることがあるかもしれません。今後、大葛の情報紙として末永く続くことを願っています。（林）

ソバ饅頭を作れる方募集！

ソバを使った地域の特産品作りとして、ソバ饅頭を作れる人を募集しています。ソバ粉や材料は用意しますので、気軽な気持ちで作ってください。この一歩で、ゆくゆくは大葛ソバ饅頭が地域の特産品になり、将来、湯気立つ熱々のソバ饅頭がとりの市に並ぶかもしれません（笑）いつでも良いのでお気軽に林までご連絡下さい。ぜひ、お願いします（林）

青若会　ソバの試作品作り

十一月四日、青若会でソバの試作品作りが行われました。ソバ粉は今年大葛で収穫したものです。コンバインの導入により去年より一か月早くできあがりました。比内地鶏の出汁で食べる手打ちソバはとっても美味しかったです。他にもソバの団子や、餡かけのオリジナルメニューも作られました。また、同月の十三日にはソバのソフトクリームも作りました。地域の特産品作りに向けて、これらはソバ会で披露されます。こだわりの逸品を作るため、今後も試行錯誤が続きます。（林）

１１月１０日には小学校で桜の剪定を行われました！

大葛の皆様へ

大葛に来てあっという間の三年間でした。失敗もありましたが、楽しく活動できたのも地域の皆様のおかげです。学ぶことが多く、助けられることばかりでした。来て一週間くらいで路肩に車のタイヤが落ち近所の方に助けられたり、雪で動かなくなった車を引張ってもらったり、家の水道が凍ったりと思い返してみればかなり皆様にピンチを救って頂きました。生活面だけでなく、活動面でも挙げていけばキリがありません。一年目、節電の取材先を快く引き受けて頂いた各ご家庭、ソバの栽培から手作業での収穫、そしてレタス栽培。協力隊として来ましたが、協力されたのは自分の方でした。いつも感謝しています。大葛の方は人が良く優しい方ばかりです。三年間の中で大葛の財産は、ここに住む人だな思いました。謙遜される方が多いですが、みんな色んな知識があって長年培った経験や業も持ってます。最近は若い人の活動が目立ち、地域の皆様、将来を考える会など上の世代がそれを助け認めてくれています。世代間の違いはありますが、お互い尊敬し合えれば大葛の将来はより明るくなります。最近は世代間で酒を飲む機会が増えました（笑）今の動きは必ず大葛の将来を変えます。最後になりましたが、地域の皆様には心より感謝しております。このご恩は一生忘れません。今後も大葛に残りますので、またよろしくお願い致します。大葛に来て本当に良かったです。ありがとうございました。（林）